

基本目標1 高齢者を地域で支える環境づくり

介護や支援が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の更なる深化・推進を図るために、地域の高齢者への総合的な支援を行う高齢者生活支援センターの機能強化や医療・介護の連携の推進に取り組みます。

また、「8050問題」や「ダブルケア」、「社会的孤立」など市民の複合・複雑化した支援ニーズに対応するため、相談支援・参加支援・地域づくりを一体的にすすめ、包括的な支援体制を整備します。

さらに、国の認知症施策推進大綱の中間評価結果及び今後策定予定の認知症施策推進基本計画に基づき、認知症になっても、希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点と個人の尊厳を重視しながら認知症施策を総合的かつ計画的に推進します。

地域共生社会の実現を図るため、関連するこれらの事業を一体的に進めていきます。